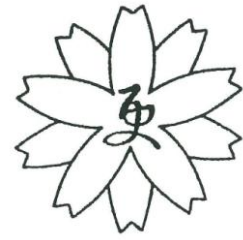


掛川地区 更生保護女性会



6/27 社明グッズ袋詰め

更女広報活動に参加して

文責 掛川支部 落合満江

会員になって間もない私、7月1日が「更生保護の日」とも知らず、初めて広報車に乗り「7月は社会を明るくする運動の強調月間です」などと知ったかぶりで、真夏の街並みにこだまをさせた。

女性の立場母の立場で、犯罪や非行をしてしまった人達を支えるだけでなく、犯罪非行防止活動にも力を注ぎ、微力ながらもマイクを通して「転ばぬ先の杖」として訴えた。

桜木地区から原泉地区まで、地域社会に於ける更生保護活動の認知度を高める為にも、この広報車を通して多くの人々に伝えられたと思います。

人気のない山中では、童謡を歌ったり市歌を歌ったり、その声の美しさは伴走車を退屈させないどころか、原野谷川のせせらぎも、木立の木漏れ日も、飛び交う小鳥たちもさぞかし聞き入った事でしょう。美女に囲まれた初めての広報活動、本当に楽しく勉強させて頂きました。

目次

- p1 更女広報活動に参加して
- p2 「少年の家」の夕食作りに参加して
- p3 防災と更生保護について
- p4 掛川地区更生保護女性会が設立50周年

第87号 更女だより
大須賀支部担当



掛川市福祉課
掛川市長谷 1-1-1
TEL:21-1140 FAX:21-1163

掛川地区更生保護女性会
会長 戸塚久美子
TEL:090-5636-8333

「少年の家」の食事作りに参加して

文責 大須賀支部 中山キクエ

更生保護女性連盟の会員になって、1年目が終わらない3月3日、先輩達のうしろから食事作りのお手伝いをさせて戴きました。

初めてのことで不安が一杯でした。でも施設は明るく個人が尊重され地域の防災センターも兼ねた建物でした。地域とこの様にかかわりあっている施設に入寮できる子供達は、恵まれているのではないかと思います。

入寮者の人数を聞き、いざ作り始めました。自分の考えの甘さを知らされることになりました。みそ汁を作った時のことです、お椀に8分目もあればと、簡単な考えで作りました。所長さんに「何人分？」と問われた時、私はびっくりしました。汁物は、あすの朝までのものをと言われ、「ああ～」と思いました。

施設の経営も、所長さんを中心に皆さんの努力のもと成り立っているのだと思い、我々も含めて社会全体がもう少しくばりをして、お互いの協力でより良い施設の運営をして行けたらよいと考えました。

この寮に入所されている子供達も、生まれて来た時はみんな純真な心で、この世の中に「生」を受けて来たのに、どこかで、愛情の掛けられ方が少なかったのか？自分ではどうすることも出来ない事情が起きたのか、心の中に不幸を背負ってしまったのだと思います。

この今の施設の中で心を穏やかにして、新しい人生を自分の力で強く生きてほしいと願います。そして私達はこの子供達を温かい目で見守って行きたいと思いました。



防災と更生保護について

文責 大須賀支部 松下実千代

7/9 防災と更生保護の研修会の日は大台風8号到来という気象状態の日でした。

各地で被害が発生しているというニュース等が報じられる中、これからの進行方向に当たる当地の人間としては、この日の避難所運営ゲーム講習体験は貴重なものでした。

又、昨年、私は娘家族と実家に帰省中、やはり台風の発生の情報があり、私達夫婦は自宅が心配でいち早く台風を追いかけるように帰宅の途に着きました。

しかし残った娘家族は、その夜中にバケツをひっくり返したような雨が降ったので、川の決壊まであと少しという処で高台の学校に避難し、避難所で過ごす体験をしました。

孫からのメールで道路、田畑一面、避難所への上り坂途中迄の冠水を見て驚き、こちらに帰ってくるにも道路の閉鎖で迂回を重ねて帰ってきました。

老夫婦は、若い娘家族の車での迅速な避難、避難所での安心させる心遣い等、2人だけだったらまだ自宅にいららうし遅れた方は避難所にも入れなかったとの事、心細さに対する配慮と避難所への足の確保等を考え、災害の怖さを感じました。

東北地震の時も海岸に近い私達は支所に避難しましたが、預かっていた室内犬を連れての避難で別部屋を用意して戴きましたが心苦しく、すぐに浜松へ移動し、警報が解除されるまで浜松にいました。

この経験で自助は勿論、公助である自治体の受け入れ体制、情報の伝達、心遣い等、対処の仕方いかんが災害への過剰になる不安を取り除き、安心を得られるのではないかと。

自助、公助共々考えなければならぬ事が沢山あると思いました。



「防災と更生保護」 牧野課長より講話 (掛川警察署)



講師：掛川警察署地域課長 牧野高廣氏



護身術体験 (掛川警察署)



災害VCの方達とHUG体験 (たまり～な)

掛川地区更生保護女性会が設立 50 年

文責 会長 戸塚久美子

みなさまこんにちは。

早いもので、役員任期（2年）の後半となりました。理事のチームワークは誠にありがたいと思うほどです。また順調に運営できますことは、ひとえに会員各位のご協力の賜物と心から御礼を申し上げます。

総会の時に申しましたように、旧1市2町はそろって昭和39年に地区更女会を発足しています。今年は昭和から数えて89年ですから、満50年の節目を迎えています。これも先輩会員や物故者の皆様が、献身的にお心をおかけ、更生保護の精神をつないで下さった御蔭と深く感謝し、敬意を表したく存じます。

50年の歩みは決して平坦ではなかったと推察致します。只今も国の法改正に伴い間接的支援から直接的支援への拡大も期待されている更女会ですから、今後の活動も大きく変わることでしょう。社会の転換点である今、正しく更女会の活動も転換点にいるのかもしれませんが、時代認識を的確に把握して、社会貢献できる会として、また会員同士の親交が深められるように楽しく活動をして参りましょう。

今年度の資質向上事業は「防災と更生保護」がテーマでした。災害時に如何に犯罪が多いかを伺いました。日本人の礼節を海外メディアが取り上げてくれましたが、裏側での実態は厳しいものでした。様々な情報を地域社会に伝え、防犯の意識を平素から高めることは大切だと感じました。

年度後半の当会の計画行事に、多くの会員各位がご参加頂きまして、暮らしに役立つ情報収集、また自分育ちとなりますように、そして地域社会の見守り隊としてご健康でいつまでもお支え頂きますよう祈念しております。



7/17 実行委員会（掛川市役所）



5/13 総会（掛川市役所）



「これからの更女会活動について」
県更女連盟 堀靖代会長より講話



7/1 社明運動出発式（大須賀）



7/1 社明運動街頭啓発（大東）

平素の活動でご意見がございましたらお寄せください。学んでいきたいことなど何でも結構です。